








10/23 金	講師プロフィール *敬称略	講演テーマ
11:00 } 12:00	 <p>山崎 譲二 NPO手元供養協会会長 2005年NPO手元供養協会を設立。会員のボランティアで手元供養文化の普及や新しい葬送情報の提供活動をしている。著書：「手元供養のすすめ お墓の心配無用」(祥伝社新書)「自分らしい葬儀とお墓の全てがわかる本」三省堂 共著・代表著者</p>	<p>▶ 最近の葬送事情と時代が求めた手元供養 葬送事情はこの1、2年に限っても大きく変わってきています。葬儀においては家族葬や直葬に代表されるように葬儀の縮小化や、個人化の流れは止まりません。葬儀後、葬法(供養)も多様となり自分にあった供養の選択が自由な時代となりました。「自分らしい最期を迎えたい」「子どもに負担をかけたくない」「継承者問題でお墓をどうすればいいか?」、手元供養とともに注目されています永代供養や散骨、樹木葬など新しい多様な納骨・供養を総合的にご紹介します。</p>
13:00 } 13:50	 <p>長井 俊行 相続手続支援センター大阪 所長 ＜相続手続支援センター＞弁護士、行政書士、司法書士、税理士、ファイナンシャルプランナーなど専門家の集団で遺言・相続をトータルにサポート</p>	<p>▶ 転ばぬ先の杖(遺言・相続を考える) 相続は、遺言書がなければ法定相続になるため、誰が何を取得するかで争い、いわゆる「争族」に発展するケースが少なくありません。民法は遺言優先主義をとっているため、有効な遺言書があれば家族の平和を守ることができます。ブースでは、センター相談員や司法書士、税理士などが遺言・相続のお悩みを無料相談に乗ってもらえます。</p>
14:30 } 15:20	 <p>寺尾 俊一 ㈱オフィス・シオン代表 葬祭コンサルタント、1級葬祭ディレクター ●㈱オフィス・シオン・葬祭会館建設及び運営プロデューサーから、葬祭式典サポートサービス、葬儀式典の進行。さらには、家族葬・自由葬、直葬等の企画・立案・運営まで幅広く活動。</p>	<p>▶ 遺族の立場に立ったお葬式とは 高齢社会を迎え「自分の葬儀は自分で考える」という時代になりました。高齢者の喪主が高齢者の両親を送る葬儀も珍しくありません。おのずと葬儀のカタチも変わってきています。家族葬(来賓のいないお葬式)や関西でも急増加の葬儀をしない火葬だけの「直送」などもご紹介をします。自分にあった葬儀を一緒に考えてみましょう。</p>
15:40 } 16:30	 <p>八木 勉 ㈱メモリアルアートの大野屋 南大阪支店長 ㈱メモリアルアートの大野屋は墓石業界最大手で新しいデザインのお墓、永代供養墓、手元供養への取組など墓石の新しいトレンドにも積極的に取り組んでいる。「お墓の引越し」に数多く実績を持つ。</p>	<p>▶ お墓の引越し(改葬) 団塊の世代とその少し上の世代が今後の墓の継承を考えて動き出しています。今、故郷を離れて都市で暮らす人を中心に改葬への関心が高まっています。改葬を行うには、現在の墓の管理者が発行する埋蔵証明書や自治体が発行する改葬許可証の取得が必要です。様々な手続きや決まりを今回のフォーラムで分かりやすく解説。ブースでは無料相談あり。</p>

10/24 土	講師プロフィール	講演テーマ
11:00 } 12:00	 <p>滝内 孝一 NPO手元供養協会理事 OASE-GOHO(オーゼ・ゴホ)代表 墓石の製造販売を行いながら、父親の死をきっかけに従来の供養法だけでは癒しきれない寂しさを感じ、庵治石を使った自宅墓石型手元供養品をプロデュース。</p>	<p>▶ 手元供養と、よくある質問の解説 今、話題の手元供養ご存知ですか?葬送の分野では、根拠のない迷信やたたり、法律解釈など、不安を煽る話がよく聞かれます。火葬されず疫病など医学知識のない時代の経験がこのような迷信やしきたりを生んできたのかも知れません。新しい供養の形「手元供養とはどんなものか?」や手元供養についての”よくある質問”にお答えします。</p>
13:30 } 14:30	 <p>橋本純信 十輪院住職 十輪院は、元正天皇(715-724)の勅願寺として建立された名刹。南都二六会会長として多忙なかわら、寺離れや僧侶不信の現状を憂い、商店街に仏教相談センターを開き、弱者に寄り添う社会参画型僧侶として活動を続けています。</p>	<p>▶ 「住職の立場から「永代供養墓」を中心に仏教や供養のお話し 核家族化や少子化の進展とともに、お墓のシステムが実情にあわないケースが増えてきています。それに比例し、家族に代わりお寺が存続する限り供養する「永代供養墓」が増えていきます。十輪院では「永代供養墓」をまだあまり知られていなかった10年前から開設。全国から生前を含め200人以上の納骨、契約を受けています。今回、永代供養や奥深い仏教と供養についてお話ししていただきます。</p>
15:00 } 16:00	 <p>中村 仁一 「自分の死を考える集い」主宰、医師 社会福祉法人「同和園」特別養護老人ホーム・養護老人ホーム付属診療所・所長 著書：「幸せなご臨終―「医者」の手にかかって死なない死に方」(講談社)「日本人と死の準備」角川S Sコミュニケーションズ(共著)等</p>	<p>▶ 老化や死とどう向き合えばいいのか?を考える 自然な穏やかな死に方がある。はた迷惑な親切と延命治療が、人生の最終ステージを汚していると談じる中村さん。京都で「自分の死を考える集い」を始めて13年間、「死ぬまでをどう生きるか?」をテーマに参加者と一緒に考え続けてきた。臨床医としての豊富な経験を含め、あなたにとって輝いて生きる(死ぬ)ための貴重なアドバイスが聞けます。</p>

※フォーラム講師、スケジュール、講演内容は都合により変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

＜NPO手元供養協会の活動内容＞

2005年6月協会発足以来、全国13都市で葬送イベントを開催、延べ来場者3,000名の方々に葬送情報を発信しております。昨年秋には会報を創刊し紙面での葬送情報の提供も始めました。NPO手元供養協会では現在一般会員の募集を受け付けております。(一般会員/入会金無料、年会費3000円)最新の葬送情報や手元供養に関心のある方はぜひご入会下さい。お問い合わせ・資料請求は、当会ホームページ <http://www.temoto-kuyo.org/>、または電話：075-315-3370(NPO手元供養協会事務局/博国屋内)へお知らせください。

